

# あわら 市議会だより



第47号

平成28年1月15日 発行

迎春



## Contents

12月定例会報告	2p
議会報告会	3p
委員会報告	4p
一般質問	7p
行政視察報告	12p
討論・議会トピックス	14p
議案と結果	15p
ふるさと探訪	16p

竹田川に架かる芦原橋(田中々・下番地係)から見た日の出です。

議会がインターネットで視聴できます。

[あわら市議会インターネット中継](#)

[検索](#)

# 第9回 議会報告会を開催しました

11月4日、5日、6日の3日間、市内12ヶ所において第9回議会報告会を開催しました。合計150人の市民の皆様にご来場いただき、9月定例会の審議状況を報告し、参加者との意見交換を行いました。多くのご意見やご要望がありましたので、皆さまの声を抜粋して紹介します。

**JR 芦原温泉駅前**  
L10527  
○aキューブは何のために整備したのか分からない。将来どのように活用するのか、もっと検討すべきである。



議会報告会 (IKOSSA)

**小学校統廃合**  
L10528  
○休校となる小学校に対し、記念行事等への補助金がほしい。  
また、制服や体操服などを購入するための補助も必要である。  
○各種負担金や夏休み中の子どもクラブへの通学方法など市としてバックアップをお願いしたい。

**有害鳥獣対策**  
L10529  
○石川県が設置しようとしている県境の固定柵は、絶対に阻止してほしい。  
○イノシシの被害防止対策を実施しているが、財政的にも気力的にも限界に

**地方創生**  
L10530  
○都会に出て行った若者が地元に戻って来てもらうために、雇用対策をしっかりとしてほしい。  
○地方創生の施策を市民に分かりやすく説明する必要がある。



aキューブ



議会報告会 (坪江公民館)

来ている。市として抜本的な対策を集落に指導してほしい。  
○ハクビシンが非常に増加している。他の自治体では爆竹等にも補助をしていると聞くので、あわら市も検討してほしい。  
**都市計画道路南中央線**  
L10531  
○県道の計画が実現するよう、市、市議会、県議会議員が一致団結して、課題に取り組んでほしい。

**防災対策**  
L10532  
○現在、一箇所である水や食料の備蓄拠点を数箇所に分散させた方がよいのではないか。  
○海抜標示は、吉崎や波松地区のみでなく、市内全域で標示してほしい。  
○拠点避難所の鍵の取り扱いを早急に決めてほしい。



健康長寿祭

**健康長寿祭**  
L10533  
○近年、参加者が減少しており、剣岳地区で行っているように公民館単位で行うことはできないのか。

**市議会**  
L10534  
○全議員が一般質問を行い、市議会を活性化させ、市政運営をただししてほしい。

**議会報告会**  
L10535  
○土曜日や日曜日に開催してほしいか。  
○地区毎にテーマを設けて意見交換を行ってほしい。  
○もっと人を集めるための努力をするべきである。



議会報告会 (吉崎公民館)

## 12月定例会

平成27年度一般会計補正予算(第3号)

# 2億9,427万3千円を増額

議会報告会(伊井公民館11月6日)



- 平成26年度各会計の決算を認定
- 一般会計予算総額は143億3,474万円に
- 企業立地助成金等 3億1,488万8千円を交付
- 芦原児童公園完成(湯のまち公民館隣り)
- 代表監査委員 近藤 茂氏の選任に同意

平成27年12月定例会が12月2日から21日までの会期で開催されました。

今定例会では、9月定例会で決算審査特別委員会に付託された平成26年度の各会計決算の認定に関する11議案を認定・可決しました。そして、平成27年度補正予算に関する7議案、条例の制定・改正に関する7議案、人事に関する1議案の計15議案が上程され、すべて原案のとおり可決しました。

なお、今回は9名の議員が一般質問を行い、理事者に対して市政をただしました。

### 新年のごあいさつ

議長 坪田 正武

新年あけましておめでとうございます。市民の皆さまにおかれましては、輝かしい希望に満ちた新春を、ご家族おそろいで穏やかにお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

議長就任から6ヶ月が経過いたしました。昨年を振り返りますと、本市議会では、定例会や常任委員会等の開催に加え、加賀市議会と連携し、国道8号の4車線化等についての要請活動を強力に行って参りました。また、北陸新幹線金沢開業の影響により、観光客が増加しており、喜ばしいことではありますが、一過性のものとならぬよう、議会においても市の魅力を積極的に発信し、にぎわいあふれるまちづくりに全力を尽くしていきたいと存じます。

本年が皆さまにとりまして、幸多き年となりますようご祈念申し上げ、謹んで年頭のごあいさつといたします。



# 総務文教常任委員会

## インターネット中継で審議状況をご覧になれます。

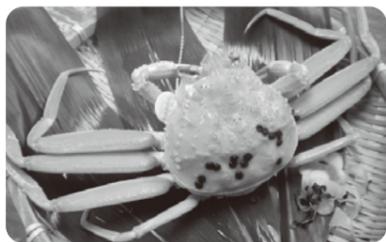
**平成27年度  
一般会計補正予算**

### ■政策課

**ふるさとあわら  
サポート寄付金に  
かかる経費  
1千316万9千円増**

委員 ふるさとあわらサポート寄付金にかかる経費が昨年より大幅に増加しているのはなぜか。

理事者 この経費のほとんどは、ふるさとあわらサポート基金への寄付に対する返礼品の購入経費である。寄付が増加した要因は、ふるさと納税のインターネットサイトである「ふるさとチョイス」の利用を9月から開始し、返礼品の品目も増加させたためである。11月以降は越前ガニ等の申し込みが多く、目標寄付



返礼品の一例(セイコガニ)

額4千600万円は、年度内に達成できると考えられている。

### ■文化学習課

**放課後子どもクラブ  
指導員賃金  
327万4千円増**

委員 放課後子どもクラブ指導員の配置基準はあるのか。また、資格が必要なのか。

理事者 配置基準は、児童20人に対して指導員1人となっている。指導員資格については、

### ■教育総務課

**小学校適正規模・  
適正配置事業  
190万4千円**

委員 波松小学校及び吉崎小学校の統合に伴う

休校記念事業補助金はどのような基準で算出したのか。  
理事者 近年小学校を統



波松小学校 運動会後の記念セレモニー

合した美浜町の事例を参考に、定額分20万円に加え、1世帯当たり2千円で算出した。

### ■国体推進課

**運営負担金  
137万2千円**

委員 負担金は会場設営

に係る設計経費に充てることだが、設計委託は入札かそれとも随意契約なのか。  
理事者 設計については、見積もり合わせの随意契約を考えている。  
委員 国体会場の設営経費はどの程度を想定して

福井しあわせ元気国体は平成30年9月29日から10月9日までの日程で開催されます。

いるのか。

理事者 あわら市で開催する3競技6会場の設営経費は会場によってばらつきがあり、3千万円から6千万円となる予定である。県からは、全てが対象ではないが、3分の2の補助がある。

委員 3競技の練習場はどうなるのか。

理事者 カヌーはアイリスブリッジ近くの湖面で、ゴルフは各ゴルフ場の練習場と福井市内のゴルフ練習場を考えている。バレーボールは、金津・芦原両中学校、金津東小学校、伊井小学校、坪江・伊井公民館の体育館を考えている。

# 厚生経済常任委員会

## インターネット中継で審議状況をご覧になれます。

**平成27年度  
一般会計補正予算**

### ■農林水産課

**企業的園芸確立支援  
事業補助金  
(イオンアグリ分)  
1千295万2千円減**

委員 減額の理由は何か、経営規模を縮小するのか、理事者 経営面積の変更はない。企業内部の検討により、ハウス栽培から露地栽培に変更となったため、栽培ハウスの整備を縮小したためである。

**新規就農者支援事業  
補助金  
427万6千円**

委員 新規就農者が丘陵地に入植しても、なかなか定着しないよつである。新規就農者を増やすつものがあるのか。



湯〜わくDoriの街路灯

### ■観光商工課

**温泉情緒あふれる  
華やきの  
まちづくり事業**

委員 新設する街路灯の電気代はどこが負担するのか。

理事者 定着させるには農業で生活が成り立つ事が大切だと考えている。住まい関係の補助制度もあり、経営面では、園芸カレッジでの研修、畑作家の元で指導を受けるなど様々な支援を行っている。

**平成27年度  
あわら市国民健康  
保険特別会計補正  
予算**

**1億2千750万  
5千円増**

委員 医療費はどのような状況なのか。

理事者 税率を改定した平成24年時の想定よりは、良い状況だが、決して改善はしていない。更に医療費適正化に向けた取り組みを行いたい。

**芦原温泉上水道財  
産区水道事業会計  
補正予算**

委員 ペットボトル水の販

売は、旅館がほとんどであるが、更なる販路拡大として、市内の4つのゴルフ場に営業を行い、ペットボトル水を販売してもらうようには出来ないのか  
管理者 事業者は仕入れ値が安いものを販売するので、難しい面があるが、営業の努力は行いたい。

**あわら市個人番号  
カードの利用に関  
する条例の制定に  
ついて**

委員 住基カードは有効期限までは利用できるが、それ以降は利用できなくなる。マイナンバーカードへの切り替えをどのように周知するのか。  
理事者 当分の間は、住基カードは使えるので、様々な機会を捉えて説明を尽くし、順次交換してもらいたいと考えている。

**公園条例の一部を  
改正する条例の制  
定について**

委員 芦原児童公園内の多目的グラウンドの管理方法について、平日は建設課、休日はトリムパークで申請や鍵の貸し出しをする運用だが、利用者の利便性を考えると児童公園の隣にある湯のまち公民館で鍵の貸し出しをすべきではないか。

理事者 休日の対応について、湯のまち公民館は第3日曜日と祝日が休館である事から、トリムパークで行うことにした。当



芦原児童公園内の多目的グラウンド

### 議案外の件

**JR芦原温泉駅  
周辺整備事業**

委員 芦原温泉駅周辺整備基本計画の改定を来年度に予定している。今回行う駅周辺整備は、100年に一度の大きなプロジェクトである。中途半端な整備ではなく、思い切った駅前の区画整理を実施し、福井県の北の玄関口にふさわしいものにすべきである。  
理事者 財政的な事も考慮しながら現実的、なおかつ望まれる計画を立案したいと考えている。

# 市政について問う!

12月の定例会では、9名の議員が一般質問を行いました。ここでは、その質問と答弁の要旨を掲載します。(通告順)



- 吉田 太一 議員**  
 ●市債残高の抑制について
- 山本 篤 議員**  
 ●あわらし市の農業政策について  
 ●JR芦原温泉駅開発とaキューブのあり方について  
 ●これからの観光政策について
- 笹原 幸信 議員**  
 ●JR芦原温泉駅前活性化及び周辺整備について  
 ●市長のTPP農業部門の考え方は
- 八木 秀雄 議員**  
 ●鬼怒川の堤防決壊を教訓にした今後のあわらし市の対応(対策)について
- 仁佐 一三 議員**  
 ●高齢者世帯へのサポートについて
- 山田 重喜 議員**  
 ●産業団地整備事業特別会計について(古屋石塚テクノパーク)  
 ●土地開発基金について
- 山川 知一郎 議員**  
 ●中高一貫教育について  
 ●障害児教育への支援を  
 ●住宅リフォーム助成制度の導入を
- 卯目 ひろみ 議員**  
 ●教育振興対策について
- 平野 時夫 議員**  
 ●シルバー人材センターの規制緩和について  
 ●路面下の空洞調査について  
 ●若者の活躍推進について

## 決算審査特別委員会

インターネット中継で審議状況がご覧になれます。

決算審査特別委員会は、平成26年度の決算について、「予算が適切に執行されているか」、「その財政効果が本来の行政目的に適合しているか」、「住民負担とその使途が適正かつ効率的に行われているか」などに重点をおき審査しました。

そして、次年度以降の事業に反映させるよう、様々な項目において提案や改善を求めていますので、主な項目のみ掲載します。

### ■総務課

#### 職員数について

今後の人口減少などを考慮し、事業の取捨選択や事務処理を効率化するなどし、職員数を減らすよう努力すること。

### ■監理課

#### 借地料

毎年同じ金額で契約するのではなく、契約更新時には、適正な金額かどうか確認し、見直しを行うよう所管課に対し指導すること。

### ■政策課

#### HEECE構想

HEECE構想は、少子化による労働人口減の影響から、歳入が減少する一方、歳

### ■財政課

#### 今後の財政運営



施設園芸(ミディートマト)

農業の分野が欠けているが、農業は経済や環境の分野で大きな役割を担っているため、今後、構想に取り入れるよう検討すること。

### ■市民生活課

#### 市営駐車場



湯のまち駅南口駐車場

約1千800万円の赤字となっているが、投資経費も回収できるような、駐車場利用を促進すること。

### ■健康長寿課

#### 医療費適正化事業

医療費の抑制に向けた各種取り組みを行っているが、今後は、各課や各種団体と連携した総合的な予防事業を推進すること。

### ■農林水産課

#### 各種補助事業

事業計画の審査も大切だが、補助後の進捗状況や効果など、追跡調査検証を行い、今後の事業に活かすようにすること。

### ■観光工商課

#### 施設の指定管理

指定管理者に対し、契約事項を順守させ、会計報告の明細等をしっかりとし記載するよう指導するとともに、収益が上がるよう企業努力を促すこと。

こと。

### ■上下水道課

#### 下水道の接続

下水道未接続者に対し、個別訪問を行っているが、更に接続を促すこと。

### ■スポーツ課

#### カヌー駅伝大会



カヌー駅伝大会

カヌースプリント競技の普及啓発のため、カヌー駅伝大会を実施しているが、参加者が少ない。費用対効果が上がる大会にすること。

### ■文化学習課

#### 金津創作の森



金津創作の森

健全運営の観点で、有料入場者数を伸ばすことはもちろん、友の会やメセナ会の会員を増やすよう努力すること。

### ■監査委員事務局

#### 監査委員の報酬

監査委員の報酬は、県内他市と比べ非常に低い状況であり、適正な報酬額に改正すること。



吉田 太一 議員

### 市債残高の抑制 について

**吉田** 市債残高が年々増加しているが、残高を抑制していく意思があるのか。

**財政部長** 地方債残高はやや増加傾向にあります。その要因は、交付税の代替措置であり、総務省の決算分析などでは一般財源扱いとなる臨時財政対策債と、合併特例債の活用であり、「安易な借り入れによる財政運営」などではなく、適切な措置であると考えています。

**吉田** 臨時財政対策債の年度末残高が驚異的に増加しているが、借入額を抑制するような考えはないのか。

的に増加しているが、借入額を抑制するような考えはないのか。

**市長** そのような議論は毎年行っています。金利の問題もありますが、財政の健全性を保つために繰越金を残すというのには必要です。また、基金を取り崩すという考えは、大変危険な考えで、基金はいざ取り崩さなければならなくなると思いますが、できるだけ積立てておきたいと考えています。

一方で、歳入面でも、平成31年度には、合併に伴う地方交付税の優遇措置が完全になくなることなどを考慮すると、「必要一般財源の確保」という観点から、少なくともここ数年間は、発行可能額の借り入れが必要ではないかと思っています。

よって、総合的に考え臨時財政対策債を借り入れる判断をしています。

**吉田** 平成26年度において、仮に臨時財政対策債を発行しなくても約5千万円繰越金が残る。これは高い利息を払い、繰越金を増加させているようなものである。臨時財政対策債の発行をゼロにするなど、

**吉田** 平成26年度において、仮に臨時財政対策債を発行しなくても約5千万円繰越金が残る。これは高い利息を払い、繰越金を増加させているようなものである。臨時財政対策債の発行をゼロにするなど、

平成26年度末 地方債残高	
一般会計	177億5,004万3千円
前年度比	2億8,716万5千円増



山本 篤 議員

### 農業政策について

**山本** 農業経営安定のため、市として考えていく事はないのか。

### 経済産業部長

集落営農は構成農家の共同作業により省力化が図られ、持続的な地域農業を推進する手法の一つであり、今後も押し進め、「儲かる農業」に向けて取り組む必要があると考えています。組織化の難しい北部丘陵地の畑作地帯においては、「ふくい園芸カレッジ」と連携し、積極的に就農者の参入を支援し、農地の集積に取り組んでいきます。

**山本** 「道の駅」的な農産物販売所や地産地消のレストランなどを作り、観光農業を推進していく考えはないのか。

**山本** 駅前開発だけでなく、竹田川を含めた金津市街全域を捉えた

地消のレストランなどを作り、観光農業を推進していく考えはないのか。

整備計画が必要で、「まちづくり株式会社」をつくり、市民を巻き込んだ政策も必要ではないか。

**山本** aキューブを取り壊すとの話を聞きましたが、今後も設備投資を行っていくのか。

**山本** 外国人観光客市場に対し、どのような政策が必要だと感じているか。

**山本** 「既存施設有効利用」というコンセプトを重視し、最小限の改修、改善に努めています。また、芦原温泉駅周辺整備に伴うaキューブの取り壊しについては、現時点で計画はありません。

**山本** 外国人観光客市場に対し、どのような政策が必要だと感じているか。

**山本** 駅前開発だけでなく、竹田川を含めた金津市街全域を捉えた

**山本** 外国人観光客市場に対し、どのような政策が必要だと感じているか。

**山本** 駅前開発だけでなく、竹田川を含めた金津市街全域を捉えた

**山本** 外国人観光客市場に対し、どのような政策が必要だと感じているか。



笹原 幸信 議員

### JR芦原温泉駅前活性化について

**笹原** 駅前に商業施設の誘致を考えているようだが、具体的にどのような施設なのか。

**土木部長** 市内の多くの事業所から、駅周辺にビジネスホテルを誘致してほしい、併せてコンビニや居酒屋など、飲食店も必要という意見があり、駅周辺へのビジネスホテル等の誘致を念頭に置いています。しかし、立地場所については、進出企業側の意向も考慮し、今後検討したいと考えています。

**笹原** 「金津本陣にぎわいづくりプロジェクト」の進捗状況は、「誘いグループ」において検討を重ねた結果、金津神社付近の市道約200mについて、平板ブロック等による散策路を整備することになり、年度内完成を予定しています。



JR芦原温泉駅前

**笹原** 現状の整備は点でしかない。点と点を結び、面としての整備をしなければならない。

えからPPPに賛成をしたのか。

**市長** アンケートは、PPP交渉からの離脱は避けられない状況の中、賛成か反対かを問うという単純な質問内容で、農産物及び鉱工業製品の関税撤廃や食品の安全確保などPPP全般に及ぶ印象として「どちらか」という賛成」として回答しました。

農業関係者に、思わぬご不信を招くと同時にご心配をおかけしたことは、私の本意ではなく、非常に遺憾に思っています。

**市長のPPP農業部門の考え方は**

今般、政府はPPP対策として、経営安定対策の拡充など、農業対策を実施していく方針を示しており、より有利な条件を勝ち取るべく、さまざまな機会をとらえて要請していきたいと考えています。

**笹原** 共同通信社が実施した全国首長アンケートで、どのような考

えからPPPに賛成をしたのか。



八木 秀雄 議員

### 鬼怒川堤防決壊を教訓にした今後の対応について

**八木** あわら市の治水の現状と課題をどのように捉えているのか。

**土木部長** 竹田川の洪水対策につきましては、平成元年に龍ヶ鼻ダムが完成したことにより洪水被害の軽減が図られています。

しかしながら、金津市街地区間においては流下能力の小さい区間があります。現在、県では平成18年度に策定した「河川整備計画」に基づき、下流側から計画的に改修が進められており、現在、兵庫川合流

部付近まで進捗しています。



金津町営住宅浸水(S56.7)

本市としても、坂井市と、「竹田川河川改修促進協議会」を組織し、整備促進を図るよう国や県に強く要望しているところです。

今回の訓練では、情報の選別や伝達方法においていくつかの課題もありましたが、概ね所期の目的は達成できたものと考えています。今後、このような実践的な訓練により、職員の防災能力の向上を図りたいと考えています。

**八木** 災害発生時の市職員の対処能力の向上を図ることが大切であるが、どのような職員防災訓練を実施していくのか。

**八木** 防災出前講習の実施状況と課題や問題点は。

**総務部長** 今年、初の試みとして、災害対応力の向上のためには有効な訓練であると思われる図上訓練を実施しました。

しかし、休日・祝日での実施希望が多く、日程が競合するなど地区の要望に答えられないこともあったことから、今後は、日程をより柔軟にするなどの工夫しながら、全地区を巡回したいと考えています。

図上訓練を実施しました。

図上訓練を実施しました。



### 高齢者世帯のサポートについて

**仁佐** 足腰に不安がある高齢者世帯は、早朝のゴミ出しが大きな負担になっている。市として何等かの支援をするべきではないか。



**仁佐** 買物弱者を支える仕組みを構築すべきではないか。

**市長** 自分のことは自分でするという「自助」が困難な場合には、元気な高齢者を含む近隣の住民がサービスの提供者となり、地域全体で高齢者を支える相互扶助といった「互助」による支援が大切であると考えています。

現在、社会福祉協議会とともに、住民互助による仕組みづくりの検討を進めているところですが、一方で、シルバー人材センターにおいて、ごみ出しや電球交換を対象とした低料金・短時間の代行サービスを導入できないか、協議したいと考えています。

**市長** 「買い物弱者」を支えるために福井県民生活協同組合では、移動店舗による販売のほか、食材セット宅配や夕食宅配に取組んでいることです。さらに、民間事業者による食材宅配サービス等も多くのご家庭で利用されていますので、現時点では、市として対策を講ずることは考えていません。

**仁佐** 過疎化が進む地域の小売店に対して補助金等の支援はできないか。

**市長** 他の地域にある小売店との公平性を確保する観点からも、新たな支援策の導入は困難であると考えています。



### 産業団地整備事業特別会計について(古屋石塚テクノパーク)

**山田** 費用対効果を基準に考えた場合、当該特別会計で実施した事業は妥当だったのか。



あわら市産業団地(古屋石塚テクノパーク)

**経済産業部長** 現在、全体の34%の土地が未売却地ですが、優良な企業2社の誘致ができ、また、これらの企業による多額の設備投資に加え、新たに25人の雇用が生み出されたこと等を考慮すると、極めて有効な事業です。本市の産業振興や市民の雇用の確保の面から、積極的に推進すべき重要な事業であると考えています。

今後、国道8号バイパスや石塚橋の架け替え工事の早期完成に取り組みむなど、企業立地環境の整備を図りながら、未売却地の売却に全力で努めます。

**土地開発基金** JNCSN **山田** 学校用地等、本来基金で所有すべきものでない土地は、一般会計で買い取るべきではないか。

**総務部長** 土地開発基金で所有している土地については、それぞれの用途に供用することになった時点で、一般会計において買取り、行政財産としてその所管課において管理していくことが適当であると考えています。

しかしながら、所有する約3万平方メートルもの土地すべてにおいて、それぞれの価格等について精査する必要がある事を考慮すると、一度に買い取ることは現実的ではないので、今後の管理方針等について検討したいと考えています。



### 中高一貫教育の検証を

**山川** 中高一貫教育が導入されて約10年になるが、このまま制度を維持するのかが。

この制度は、生徒を差別・選別するものであり、また、一貫コースの生徒は、高校入試がないため、学習意欲に欠けるとの批判もある。廃止すべきではないか。

**教育長** この制度が生徒を差別・選別するものとは考えていません。中高一貫教育の目的は、「特色ある学校づくり」「金津高校を中等教育の拠点校として育てる」等です。

今までの取り組みで、一定の成果が上がっていると考えていますが、生徒数の減少に伴い、定員確保と学力のレベルを維持することが困難となりつつあり、対応を検討する必要があります。か。

### 障害児教育の拡充を

**山川** 国は来年度から、「障害者差別解消法」を施行し、障害児個々の特性に対応するため、自治体に施設の整備や支援員の配置、読字障害のある子へのタブレット使用などを求めているが、十分な対応ができていないか。

**教育長** 障害は多種多様であり、すべての障害に対応するのは困難ですが、施設のバリアフリー化やデジタル補聴器、拡大図書の充実を図り、学校生活支援員は市

費にて21人配置しています。タブレットの使用についても、必要な対応をとっていきます。

### 住宅リフォーム助成制度の導入を

**山川** 勝山市では、住宅のリフォームに対して20万円を限度として、事業費の5分の1を助成し、助成額の9倍の経済効果をあげている。この制度は、全国600以上の自治体で導入されており、不況に苦しんでいる建築関連業者の仕事起しにもつながる。住宅リフォーム助成制度を導入すべきではないか。

**土木部長** 住宅リフォーム助成制度とは違いますが、本市でも住宅改造等に関する支援制度がいくつかあり、これらの制度を優先していきたいと考えています。



### 教育振興対策について

**卯目** 論語は日常生活に関することが多く、人の生き方などが、短い言葉で表されている。幼小、中、高の学校教育や社会人の生涯教育に論語を取り入れ、人の道を分かりやすく導く手だてを講じることはできないか。

**教育長** 現在、小学校5年生と中学校3年生の国語科で論語を学習するほか、論語カードや故事成語カードなどを利用して音読にも取り組んでいます。一部の学校では、教室内や廊下の掲示版などに論語を掲示

し、覚え親んでいます。論語は、毎日の生活の中の道徳観や礼儀作法の在り方を説いている不朽の名作と言えるものです。あわら市では、論語の他にも、小学校では百人一首、中学校では和歌や漢文など古典学習にも力を入れています。

**卯目** 道徳は、幼少期から知らず知らずのうち身に付くと思うので、小さい頃から人の道、人柄を育てる教育に力を入れるべきではないか。

**教育長** 道徳教育は、書物等を読み、心情を理解したうえで、行動に移せるかを大事にして



いますが、このことは、とても難しいことです。困難なことですが、学校では、実践的な道徳を身につけるためにボランティア活動の場を与え、道徳教育を行っています。



平野 時夫 議員

### シルバー人材センターの規制緩和を

**平野** 事業に対する認識と、国に規制緩和の要請を行う考えはないか。また、市からの委託回数増やセンター運営経費の補助の増額の考えはないか。

ンター事務局と協議し判断すべき事項と考えています。運営補助については、本年、制度改正により国からの運営補助が151万円増額されたことに伴い、市も増額しています。

### 路面下の

### 空洞調査について

**平野** 市道路線の数と総延長は、道路陥没の状況と原因、並びに対策はどのようになっているか。また、路面下空洞化に対する認識と国の「防災安全交付金」の予算活用についての見解は。

**土木部長** 市道は98.2路線あり、延長約336kmで、小規模な陥没は毎年数件確認しています。主に道路側溝や横断構造物の破損による土砂の吸出しが原因です。対策としては、コンク

リートを流し込むなど応急的に補修をしていますが。早期発見と適切な補修が重要と認識しています。

### 若者の選挙参加について

**平野** 市の新有権者の状況と不在者投票を含めた投票率アップをどのように取り組むのか。

**総務部長** 新有権者数は約650人で、内約70人は高校生です。県と市の選管を中心に出前講習開催や、本番さながらの模擬投票を実施し、関係機関とも協力し啓発活動を行い投票率向上に努めていく考えです。

## 議会運営委員会

### 行政視察報告

当委員会では、滋賀県彦根市及び兵庫県三田市において「議会改革について」視察研修を行いました。

彦根市議会では、主な取組みとして、「議場コンサート」、「子ども議会」、「中学生議会傍聴」、「議会報告会」を実施しました。

特に素晴らしい取り組みは、子ども議会です。

また、子ども議会では、平成21年度から年一回実施し、子ども議員は、市内の17小学校より代表2名を学校で選出しています。子ども議員からの質問により、学校トイレの洋式化やカーブミラーの修繕など、実際に対応した例もあるとのこと。更に、保護者は、子どもたちの議場での様子を必ず傍聴に訪れるため、市議会や行政の取り組み

を身近なものに感じてもらえるとのこと。非常に良い取り組みだと感じました。

次に、三田市議会では、特に「予算決算常任委員会」について視察しました。委員会には、議事を調整する理事会と実質的に審査を行う分科会の組織があります。

審査の流れとしては、まず理事会を開催し、予算決算常任委員会の全体の運営を協議します。委員会の全体会では、理事会の報告、分科会の予定確認、総括質疑の順番等を決定しています。

分科会では、補正予算は所管部局を一括して審査し、当初予算及び決算は部局別に審査しています。分科会を経た後、



三田市役所

全体会で総括質疑・表決を行い、理事会で委員長報告の取りまとめを行い、本会議で委員長報告を行っていることでした。

予算特別委員会については、議案一体の原則から本来設置すべきものと考えますが、審査も全員でするか少数人数とするか、全員で審査するならば場所や審査時間など、今後、充分検討する必要がありますと感じました。

## 総務文教常任委員会

### 行政視察報告

当委員会は、福岡県みやま市で「学校統廃合問題について」、同じく新宮町で「人口動向にみる諸問題について」視察研修を行いました。

みやま市は、小学校が15校、中学校が4校あり、うち複式学級のある2つの小学校をどうにかしなければならぬという喫緊の課題を背景に統廃合を進めたとのこと。

統廃合の取り組みの総括では、統廃合計画を作る段階で校区ごとに説明を行い、特に反対がなかったら理解を得られたと判断し、計画を遂行した。

しかし、具体的な話になると、なかなか話が前に進まない状況が生まれ、総論賛成・各論反対といった話が出て来ないように詳しい説明が必要だったとの反省があるそ

うです。

学校統廃合は、教育的視点だけでは成り立たないということを感じ、今後は統廃合は地域の合意形成が必要であるので、地域コミュニティの中心に学校があるというスタンスで計画を進めるべきと考えているそうです。

次に福岡県新宮町は、人口が減少していく市町村が多い中、2年連続人口増加率日本一の町となつています。理由としては、福岡市に隣接する立地条件や、交通網が充実していることが考えられます。

人口増加による一番の課題は、インフラ整備であり、特に義務教育施設・子育て支援施設の整備



みやま市役所

が喫緊の課題とのこと。転入者の多くは、学前から小学校低学年の子どもを持たれる子育て世代が大部分を占めており、平成28年4月には新設小学校を、31年には新設中学校の開校を目指し現在計画を進めている状況でした。

## 厚生経済常任委員会

### 行政視察報告

当委員会は、新潟県糸魚川市で「北陸新幹線糸魚川駅について」、広島県福山市で「都市ブランド戦略について」、同じく呉市で「医療費適正化の取り組みについて」視察研修を行いました。

糸魚川駅舎の整備には、多額の費用を要しており、その理由は、JRに関連する近接工事はJRが認める業者にしか発注ができない、またJRが設計を行うなどの関係で、通常の工事よりはるかに高額になるとのことです。

芦原温泉駅の開業は、福井先行開業の議論もありますが、7年後の平成34年度末です。新幹線は巨大プロジェクトであり、県や近隣市町と広域的に連携を取りながら早急に計画を進めていくべきだと感じました。

次に、福山市の都市ブランド戦略です。現在、地方が競い合う時代で、一つの項目で全国トップクラスになり、それにより知名度を上げ、魅力をアップさせることは非常に難しい。例えば温泉だけで全国トップを目指し、名を轟かせることは無理なこと。そこで、現在の資源を重ねあわせ、新たな価値観を見出し、他には無い魅力を生み出すようにすべきとのアドバイスがありました。

最後に、呉市の医療費適正化の取り組みについてですが、事業の基礎になっているのは、レセプトのデータベース化で、医療機関から毎月来るレセプトを業者委託にてデー



呉市役所

タベス化し、ジェネリック(後発医薬品)使用の勧奨、保健事業の推進、レセプト点検の効率化に利用していました。

当市においても、国保データベースシステムを利用することが可能であり、これからは、レセプトデータを分析し、効果的に活用しながら、個人や各地域における課題や取り組みを明確にしていくなど、具体的に進めることが必要だと感じました。

平成27年12月 第80回あわらし市議会定例会 議案等の審議結果及び各議員表決

	議決結果	仁佐一三	山本篤	平野時夫	毛利純雄	吉田太一	森之嗣	杉本隆洋	山田重喜	三上薫	八木秀雄	菅原幸信	山川知一郎	北島登	向山信博	坪田正武	卯目ひろみ	山川豊	杉田剛
平成26年度一般会計歳入歳出決算の認定について	認定	×	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	×	○	/	○	○	-
平成26年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	-
平成26年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	-
平成26年度産業団地整備事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	-
平成26年度農業者労働災害共済特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	-
平成26年度水道事業会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	-
平成26年度工業用水道事業会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	-
平成26年度公共下水道事業会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	-
平成26年度農業集落排水事業会計決算の認定について	認定	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	-
平成26年度芦原温泉上水道財産区水道事業会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	-
平成26年度芦原温泉上水道財産区水道事業会計剰余金の処分について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	-
平成27年度一般会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	-
平成27年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	-
平成27年度水道事業会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	-
平成27年度工業用水道事業会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	-
平成27年度公共下水道事業会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	-
平成27年度農業集落排水事業会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	-
平成27年度芦原温泉上水道財産区水道事業会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	-
行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	-
個人番号カードの利用に関する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	-
市税条例等の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	-
国民健康保険税条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	-
債権の管理に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	-
公園条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	-
市営住宅条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	-
監査委員の選任について(近藤 茂氏)	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	-

○…賛成 X…反対 -…欠席 ※議長(坪田正武)は採決に加わらないので「/」で表示

討論

平成26年度一般会計決算の認定

- ・セントピアあわらはは、指定管理者から利益の50%を市へ還元するという契約になっており、セントピアの利益を正確に確定する必要がある。しかし、企業の内部規定により、経常経費の20%を事業管理費として本社に支払うなど、利益操作が可能となっており、決算の認定には反対である。  
また、指定管理者は公募時に、地域とのコミュニケーションをしっかりと取り、地域に還元する事業を展開すると提案しながら、ほとんど新しい事業を行っていない。指定管理者を見直すべきである。
- ・市の財政援助団体である坂井北部丘陵地営農推進協議会は、事業費のほとんどを市の監査が及ばない丘陵地農業支援センターに繰出金として支出しており、事業もほとんど委託している。協議会と支援センターとの関係、組織の必要性と役割を明確にする必要がある。  
また、支援センターの事業の一つである「ねこの手クラブ」に係る会計が、監査が及ばない支援センターの会計外で処理されていることも問題である。

反対

議会トピックス

茨城県下妻市と姉妹都市締結をしました



茨城県下妻市とあわらし市は、多賀谷左近三経公を機縁として、11月16日、姉妹都市提携と災害時における相互応援に関する協定を締結しました。

坪田議長が立会人として署名しております。今後、両市の相互の友好と親善を深めるとともに、市民間の文化、産業など幅広い分野で交流を推進していくので、議会間においても更に交流を深めたいと考えています。

茨城県下妻市って？

茨城県の南西部、東京から約60km圏に位置する水と緑に恵まれた田園都市です。東を小貝川、西を鬼怒川が流れ、まちの中央には桜の名所となる砂沼があり美しい自然に恵まれています。

- 人 □ 43,280人
- 世帯数 15,356世帯
- 面積 80.88平方キロメートル
- 特産品 豚、梨、米、干石きゅうり
- 観光地 小貝川ふれあい公園  
筑波サーキット



